






令和5年 **3**月の**安らぎ**通信

目次

- (1)  高層ビル「長周期地震動」予測 緊急地震速報に追加
- (2)  タワマン 揺れに警戒促す 長周期地震動も緊急速報開始
- (3)  被災地 減りゆく追悼式 次世代への伝承 葛藤も
- (4)  浸水を瞬時把握 住宅にセンサー
- (5)  防災に役立つ情報ツール アプリや電源、万一の備え

(1) 高層ビル「長周期地震動」予測 緊急地震速報に追加

*気象庁は2月1日から、ビルの高層階を長時間にわたりゆっくりと揺らす「長周期地震動」の予測を緊急地震速報の発表基準に加えます。

*長周期地震動の階級3以上が予想される地域であれば、震度3以下でも速報の対象に。

(2023年2月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) タワマン 揺れに警戒促す 長周期地震動も緊急速報開始

全国1400棟、10年で1.4倍

*長周期地震動は揺れの程度に応じて4階級。

*緊急地震速報が発表されるのは「階級3以上」が予想される地域。

*立っていることが困難な揺れ。

*2000年以降、階級3以上を観測した地震は全国で33回発生。

*20階以上の分譲マンションは、2022年123月時点で全国に1464棟。

*東京は470棟、大阪263棟、神奈川141棟、兵庫94棟、愛知63棟。

*「安全を確保してその場にとどまるのが基本」としたうえで、揺れが大きくなる前にガスを止め、変形する恐れのあるドアを開けたり、エレベーターは最寄り階で降りたりするなど、落ち着いた行動を。

(2023年2月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3)  被災地 減りゆく追悼式 次世代への伝承 葛藤も

東日本大震災 12年 3県「節目の10年」から4割減

*東日本大震災だ被災地で追悼式典が減り続けています。
*岩手、宮城、福島 of 被災3県 42市町村のうち3月11日に式典を主催する自治体は19。

*10年の節目だった2021年からは約4割減。

*政府主催の追悼式も2021年を最後に開かれていません。

阪神大震災でも顕著 20年目の4割に

*兵庫県内の市民団体が計画した追悼行事は、2023年は42件。

*発生から20年の節目で最多だった2015年(110件)の約4割。

*地震が起きた1月17日前後に黙とうや避難訓練を行った学校や幼稚園は873箇所。

*2022年は1013箇所。

(2023年2月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4)  浸水を瞬時把握 住宅にセンサー

国交省 避難に活用、1万個配備へ

*国土交通省は大雨被害を減らすため、住宅の外壁や電柱などに小型センサーを取り付け、河川氾濫や浸水を瞬時に観測する体制を構築します。

*2023年度からの5年間で1万個の配備を目指します。

(2023年2月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(5) 防災に役立つ情報ツール アプリや電源、万一の備え

●電源を確保する

☆3日間停電したと仮定すると、どのくらい必要になるのか？

*2人家族なら約630ワット時、4人家族なら約1300ワット時程度の電力が必要。

*夏や冬はさらに1000~3000ワット時程度を確保。

*電力を補えるポータブル電源を用意しておけば、停電時にも慌てずにすみます。

*予算や設置スペース、持ち運べるかどうかも考慮。

●アプリで情報を入手

*停電時や手元にラジオがない場合、スマホが頼りに。

*最新情報が確認できる専用アプリを用意。

*「NHKニュース・防災」アプリは、最新ニュースや天気予報のほか、災害時には警報や注意報、地震、津波の情報などがチェックできます。

*「Yahoo!防災速報」アプリは、地震速報や豪雨予報など災害情報が確認できます。

*現在地のほか、登録した地域の警報なども表示。

●Web171で安否確認

*災害時の安否確認には「Web171」。

*相手の安否を確認したい場合は相手の電話番号を、自分の安否を登録したい場合は自分の電話番号を入力。

(2023年2月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

